

# 農業・流通WG

P F I 制度の検討・運用状況について  
農業集落排水事業における取り組み

## 農業集落排水事業の概要

### 1. 趣 旨

農村地域における資源循環の促進を図りつつ、農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持又は農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与するため、農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水、汚泥又は雨水を処理する施設若しくはそれらの循環利用を目的とした施設を整備し、もって生産性の高い農業の実現、活力ある農村社会の形成及び循環型社会の構築に資する。

### 2. 事業の特徴

農業集落排水は、農村の集落形態に適した小規模分散型污水处理システムであり、経済的メリットの他、次のような特徴を有している。

#### (1) 処理水のリサイクル

農業用水としての処理水の再利用による地域の水循環の確保

#### (2) 汚泥の農地還元

生活雑排水等の処理で発生する汚泥の農地還元による廃棄物の有効利用と

農地の地力保全

また、事業予算の配分に一層の弾力性を持たせるため、統合補助事業の要件を緩和し、平成14年度よりすべての農業集落排水事業について統合補助金化している。

### 3. 事業実施主体

都道府県、市町村、土地改良区等

### 4. 補助率

内地・北海道・離島 50% 沖縄 75% 奄美 60%

### 5. 事業創設年度

昭和58年度 農業集落排水事業を創設

平成14年度 農業集落排水資源循環統合補助事業を創設（平成14年度以降の新規地区は、すべて本事業により実施）

## 農業集落排水施設整備の状況と農業集落排水事業の予算

平成16年3月末時点での農業集落排水施設の整備済み人口は、313万人。長期計画における整備対象人口760万人（都道府県構想に基づく）に対する普及率は41%であり、農業集落排水施設の整備は未だ途上にある。

農業集落排水事業の平成16年度予算は、国費で624億円。

1地区当たりの平均総事業費（14年度～16年度新規採択地区平均）は、約13億円/地区となっている。

### 農業集落排水事業の予算及び新規採択地区数の推移

	平成14年度	平成15年度	平成16年度
事業費（百万円）	217,542	152,614	120,166
国費（百万円）	113,680	79,260	62,400
新規採択地区数	175地区	210地区	150地区

1地区当たりの平均総事業費（14年度～16年度新規採択地区平均）

1,312百万円/地区 機能強化地区等を除く

### PFI手法導入のための制度改正

民間資金等の活用による公共施設等の整備を促進するため、都道府県、市町村がPFI手法を活用して農業集落排水施設等の整備を行う場合にも補助できるように、平成14年度末に補助金交付要綱を改正し、平成15年度から適用している。

### PFI手法導入の実績

平成15年度、平成16年度において、農業集落排水事業において、PFI手法を導入した地区はまだなし。

### PFI推進施策

平成15年度において、農業集落排水施設整備におけるPFI実施マニュアルを検討。

平成16年度においては、PFI講習会とPFI実施マニュアル説明会の開催を予定している。

### 今後の見通し

新規要望地区を対象に重点的に説明を行い、まずは1地区の実施を図り、それをモデルとして波及に努めたい。